

# トマト黄化葉巻病が 県内に発生しました！

## ー トマト黄化葉巻病の蔓延を阻止しましょうー

平成17年秋、施設トマトにおいて黄化葉巻病が県内で初めて発生したことを確認しました。病原はトマト黄化葉巻ウイルス (*Tomato yellow leaf curl virus ; TYLCV*) で、タバココナジラミ (これまでシルバーリーフコナジラミと呼ばれていたものです) によって媒介されます。土壌伝染、種子伝染、管理作業による伝染はありませんので、タバココナジラミの防除が本病害に対する防除の要となります。世界的にも温暖な地域ではトマトの重要な病害のひとつであり、本県においても蔓延すると被害が大きくなるのが懸念されます。被害を少なくするためには早期発見と適切な防除対策を行う必要があります。

### 対策

- 1 媒介虫であるコナジラミ類の防除を徹底する (オンシツコナジラミはこのウイルスを媒介しませんが、外見で区別するのは難しいため)。
- 2 発病株は伝染源となるので抜き取り、放置せずに土中に埋める。
- 3 コナジラミの発生源となる雑草の防除を徹底する (施設内外)。
- 4 設の開口部に防虫ネット (0.4mm目以下が望ましい) を張る。
- 5 収穫終了後には施設を密閉して蒸し込み処理などを行い、コナジラミ類を死滅させ、施設外に出さない。

